

八千代市の音の風景



私たちの八千代市が発展する中、町の風景も大きく変わりました。面影を発見してみませんか？

1 村上尋常小学校-茅葺き屋根 (明治時代～大正時代)
正統市内に新立した村上尋常小学校は、明治40年に開校中塚八千代市市上、現在の市立郷土博物館の場所に校舎を新築して移った。



村上尋常小学校-瓦屋根 (記念撮影)
昭和初期の村上尋常小学校では、児童120人前後、男性教員2人、女性教員1人であった。写真はいつもよりおしゃべりしているが、先生たちは普段のままである。



4 完成時の清水路中流部 (昭和40年代)
日原清水路(現1号)を南側から北側に向けて貫いた新航空路(左)に右側に横切する国道16号。現在、橋の手前は道の駅やちよ、道を挟んで米本団地。



5 新木戸付近、八千代市制施行 (昭和43年頃)
市制施行間もない頃の成田街道に大きく伸びた橋新橋。

6 大和田駅前通の新木戸付近 (昭和43年頃)
大和田駅前通の新木戸付近で、このころ八千代市の手書きで大きく伸びた文字が、市の発展を強く感じることができた。

2 八千代市域最初の郵便局 (明治9年頃)
明治9年、政府は全国各地に単自営待達の郵便取扱人を雇って郵便業務を行なった。写真は明治9年の山手町で、門前に標識を下げ、玄関先には大和田郵便局の看板が見える。



3 興貞牛乳-大和田工場 (昭和25年頃)
興貞牛乳では牧場と直接して牛乳の処理工場を設立し、搾った牛乳をできるだけ早く処理し、それを低温滅菌処理で最大消費地である東京に運んでいた。



8 新設当時の八千代台駅
昭和28年に設立された千葉県住宅協会(千葉県住宅供給公社)は、翌29年に八千代団地の開発を目的に、並行して分譲入居が開始された。昭和31年に完成した大和田駅に次ぐ市電2番目の駅として八千代台駅を新設した。

整備が進む八千代台駅 (昭和41年)
昭和31年に開業した八千代台駅は、駅周辺の開発で利用者は急激に増えた。乗車の本数が増加し、乗客の安全を確保して待合室が設置された。利用者の半分以上は都内に通勤し、「八千代都民」と呼ばれていた。

広がる八千代台駅 (昭和45年)
団地の建設による乗客数の増加とともに、駅舎および駅前ロータリーなど周辺の開発が進んだ。昭和45年には市電川間団地の入居を控え、駅東口が開通され、昭和44年には橋上駅となった。

7 京成大和田駅 (昭和35年)
都心に集中した通勤人口の分散化のため、近郊の宅地開発を促進する需要が高まった。京成線沿線では大規模な団地造成・住宅開発が進んだ。昭和26～30年の乗車人数は30%増の88万8930人に、その後5年間は30%以上の乗車人数増を見た。

*写真は、郷土出版社「国志郷八千代の100年」より引用

『17年の歩みの中で』 ～はなみずきの今を担っている職員の仕事～

私が清明会に入職した平成14年(2002年)は日本でサッカーのワールドカップが開催された年です。入居者の方と一緒に「日本ガンパレー！」とテレビの前で一喜一憂していたのが懐かしいです。



配属は、ケアハウスの介護職を経て相談員になり、平成22年に在宅介護支援センターはなみずきへ異動し、現在に至っております。

平成26年に永年勤続表彰として全国老人福祉施設研究大会(仙台大会)に参加させて頂き、最終日に東日本大震災の復興視察ツアーがありました。当時、震災から3年半近く経っていましたが復興までの道のりは遠く、随分2時46分が止まったままの学校や、街が更地に変わって、風の音だけが響く光景等を目の当たりにした時は本当に言葉を失いました。

ツアー中に語りさんが「てんでんこ」という言葉を使っていました。津波が来たら、取る物も取り残さず、肉親にも構わずに、各自でてんでんばらばら一人で舞台へと逃げろという意味です。大切な人は、家族で口頭から話を聞いて、母があったらA公民館→小学校→中学校等と避難場所を回る順番を予め決めておく事が大切です。

私も妻や家族に早速「てんでんこ」の話をしました。数日後に妻と娘2人の避難ルートが冷感庫に貼ってあり、玄関には2人分の非常用持ち出し袋が(あれ？1人分足りぬ！)

最後に、こうして長く勤めることが出来ているのは、親身になって話を聞いてくれる上司、気軽に話が出る先輩後輩がいること尽きます。周りの皆さんの支援や協力のもとで仕事が出来るとは、とても有難く、本当に感謝したいと思います。

今後も様々な出会いを大切に、ご利用者・ご家族・職場の仲間・関連事業所の方々と良い関係を築きながら業務に携わることが出来ればと思っております。これからも宜しくお願い致します。

ありがとうございます。 (在宅介護支援センターはなみずき主任介護支援専門員 関根太郎)

私がこの仕事を始めたきっかけは、母の知り合いからの紹介でした。当時、私は、仲の良い友人が福祉系の専門学校へ行くということで、高校卒業後も特にやりたい事もなかったので、友人と一緒に同じ福祉系の専門学校へ行きました。



しかし福祉系の専門学校を卒業したにも関わらず、福祉系の仕事に就職しませんでした。その理由は専門学校時代に障害者施設、障害児施設、特養と施設実習を行いました。自分がこの仕事が出来ると不安になったためです。

卒業後、福祉以外の仕事を探しましたが、なかなか見つからず、アルバイトをしても長続きせず、中途半端な状態で1年近く経きました。そこで母の知り合いが、印旛拠点の「くつろぎの里」に勤めており、その方の紹介で「デイサービスセンターくつろぎの里」の職員として入職させて頂きました。1年近く勤務した後、特別養護老人ホームはなみずきへ異動となり、現在に至っています。

長い職員生活の中では、ご利用者様、職員仲間との出会いと別れがあり、介護技術だけでなく、生き方や考え方も学びました。私の後に入職された方も、私より年上の方も多く、他の施設で働く方々も、日々仕事や仕事以外の経験を勉強させて頂いたことも多いです。

振り返れば、私が仕事を始めた頃の介護業界とは大きく変わり、現在は、利用者様にとって介護サービスはきめ細く、多様化・高齢化しています。これからもご利用者様の生活が少しでも豊かになれるよう、日々努力していきたいと思っております。

そして最後に入職当時は不安でしたが、今の自分は、仕事があっただけで、長く続けられています。母の知り合いの紹介がなければ、今の自分はいません。仕事を紹介して頂き、感謝しています。

ありがとうございます。(特別養護老人ホームはなみずき介護職員 藤原弘希)

かすみ草日記

平成28年9月29日に「第52回関東ブロック老人福祉施設研究大会」にて、地域交流センターかすみ草の活動を発表してきました！

6施設が発表した「社会福祉法人における社会貢献活動への取り組み」という分科会にて、取り組み内容が評価され、平成29年1月24～25日に行われる「全国老人福祉施設研究協議会(長崎会議)」に推薦して頂き発表をさせて頂くことになりました！

千葉県での発表を機に、あっという間に全国という舞台に行くことになり大変恐ろしいのですが、元気に楽しく発表をしてきたいと思いますので、これからも地域交流センターかすみ草を、宜しくお願い致します。

地域交流センター かすみ草へのご連絡は、TEL:0120-805-057

編集後記
皆様、明けましておめでとうございます。清明会八千代拠点も、一番古い建物の設立から約20年経ちます。地元出身者(ご利用者様)も多くなりました。今号は、昨年一年間の行事に加えて、八千代市の音の風景や歴史なども載せ、懐かしさに想いをよせた、記事を作りました。また、昨年もご利用者様が楽しんで暮らせるように様々な催し物や行事を、企画してまいりました。ご利用者様が過ごしやすい、安心できる生活が送れる「職員員の質の向上」を目的に就業時間外にも様々な研修や、新人職員員の指導も行ってまいります。今年も、精進していきたいと思っております。(菅谷)

花ことば

19
2017(平成29)年1月

元気をお届けします 社会福祉法人 清明会
特別養護老人ホームはなみずき
デイサービスセンターはなみずき
在宅介護支援センターはなみずき
ケアハウス、りんどう
ケアハウス、ガーデンカリア
地域交流センターかすみ草
八千代市南區 ほか正統地域福祉センター
広報担当 菅谷 尚志 TEL:0474460-6060
〒276-0004 千葉県八千代市南區山田台 98-4
Eメール:hanasimeika@hanasimeika.com

りんどうの花

ご挨拶

理事長 寺田 憲児
新年あけましておめでとうございます。旧年中は、私ども社会福祉法人清明会にご指導ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年の干支は「酉(とり)」です。元々「酉」という漢字は酒を指したもので、酒に関する字に多く使われてきたそうです。そこから、収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態である「実り」という意味を表すようになったそうです。この干支が示すとおり、今年は清明会にとって「実り」となる節目を迎えます。

当法人において初めて開設された施設「ケアハウスガーデンカリア」が20年を迎えます。また、当法人が平成29年度公的介護施設等整備事業者として八千代市より決定を受け、

平成30年3月の開所に向けて八千代市村上地域に地域密着型特別養護老人ホーム及び定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所を整備して参ります。

さらに、今年の4月には社会福祉法人制度改革が施行となり、経営状態の透明性の確保、組織のガバナンスの確立、地域のニーズへの対応等に関し社会福祉法人の非営利性・公共性の根幹にかかわる法改正が予定されており、当法人においても遅滞なく準備を進めているところであります。

このように大きな環境変化が予定されている中、いかなる変化があろうとも、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様並びに関係諸機関等のご期待に沿うべく、皆様から「選ばれる法人・施設」を目指して質の高いサービスを提供するよう努力して参ります。

年末ではございますが、私ども社会福祉法人清明会を支えてくださる全ての皆様のご多幸とご健康を祈念し、私の新年のご挨拶とさせていただきます。



特養・ケアハウス（^{りんどう}ガーデンカールミア）・デイサービスのあの時、その時、1年ってあっという間でした。今年もいっばい思い出づくりをしましょう！！

月ごとに見る、主な出来事

2016. 1月	2016. 2月	2016. 3月	2016. 4月	2016. 5月	2016. 6月	2016. 7月	2016. 8月	2016. 9月	2016. 10月	2016. 11月	2016. 12月
						「氷」を楽しむ					

特養、ケアハウス、デイサービス合同の納涼祭を催しました。たくさんの方のご来場を賜り有難うございました。

特養、ケアハウス、デイサービスの大家の皆さんのご長寿の祝いが催されました。

ご利用者様の数々の作品展示はとても素敵でした。食べ物のイベントも充実していました。